

会津美里町 第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(骨子案)について

現計画

第1章 計画の概要

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 計画の基本理念
- 5 第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の総括
- 6 計画の基本目標

第2章 高齢者をめぐる現状と推計

- 1 高齢者人口等の状況と推移
- 2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果
- 3 在宅介護実態調査の結果

第3章 高齢者福祉サービス体制の確保及び充実

- 1 高齢者福祉サービス事業における現状と課題
- 2 今後の取組み
- 3 成年後見制度の普及及び啓発
- 4 高齢者への就労支援

第4章 地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現

- 1 地域包括ケアシステムの目指す姿及び地域共生社会の実現に向けて
- 2 日常生活圏域の設定
- 3 地域包括ケアシステムの深化・推進及び地域共生社会の実現に向けた施策の展開
- 4 認知症施策の推進

第5章 介護給付適正化計画

- 1 目的
- 2 介護給付費適正化事業の推進と基本的な方向
- 3 介護給付費適正化の取組みに関する目標
- 4 事業効果の把握とPDCAサイクルの展開

第6章 介護保険事業の展開

- 1 介護保険給付実績の推移
- 2 介護保険サービスの事業量及び給付費の見込み
- 3 介護保険サービスの基盤整備
- 4 地域支援事業の充実
- 5 介護保険料の算定について

第7章 介護保険事業の展開

- 1 災害に対する備え
- 2 感染症に対する備え

資料

新計画(案)

第1章 計画策定の趣旨

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 計画の策定体制

第2章 高齢者をめぐる現状と推計

- 1 高齢者を取り巻く現状
- 2 高齢者アンケートの概要

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 高齢者人口等の推計
- 2 計画の基本理念・基本目標
- 3 計画の進行管理
- 4 計画の体系

第4章 施策の展開

基本目標1 高齢者福祉サービス体制の確保及び充実

- 1 高齢者福祉サービス事業における現状と課題
- 2 今後の取組み
- 3 成年後見制度の普及及び啓発
- 4 高齢者への就労支援
- 5 災害や感染症対策に係る体制の整備

基本目標2 地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現

- 1 地域包括ケアシステムの目指す姿及び地域共生社会の実現に向けて
- 2 日常生活圏域の設定
- 3 地域包括ケアシステムの深化・推進及び地域共生社会の実現に向けた施策の展開
- 4 認知症施策の推進

基本目標3 介護保険事業の展開と適正利用の推進

- 1 介護保険給の実績と今後の見込み
- 2 介護保険サービスの事業費
- 3 介護保険サービスの質の向上と各種施策
- 4 介護給付適正化計画

資料

※網掛は主な変更点・留意点(後述参照)

◆計画構成に関する主な変更（案）について

第1章 計画策定の趣旨

（第9期・第8期計画の「第1章」と概ね同様の構成とするが、以下について留意する。）

- 3 計画の期間 : 令和6～8年度年度の3年間を計画期間とする。なお、団塊の世代すべてが75歳以上となる2025年（令和7年）、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年（令和22年）など、中長期的な視点（2050年（令和32年））を見据えて検討を行う。
- 4 計画の策定体制 : 策定委員会、高齢者アンケート、パブリックコメントについて記載する。

※現「4 計画の基本理念」及び「6 計画の基本目標」：第3章に移動

※現「5 第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の総括」：第2章に移動

第2章 高齢者をめぐる現状

（第9期・第8期計画の「第2章」と概ね同様の以下の構成とする。）

- 1 高齢者を取り巻く現状：近年の人口、世帯数、認定者数の推移を整理する。将来推計については第3章に移動する。
- 2 高齢者アンケートの概要：昨年度に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」の概要を整理する。
- 3 第9期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の総括：現計画について総括を記載する。（第1章より移動）

第3章 計画の基本的な考え方

（「計画の基本的な考え方として、将来人口推計や基本理念等について検討・整理する。）

- 1 高齢者人口等の推計 : 計画の前提となる将来高齢者人口等を推計する。中長期（2050年（令和32年））を見据えた推計とする。65歳以上の高齢者数は2024年（令和6年）がピークとなるが、75歳以上の後期高齢者数は2035年（令和17年）がピークになると推計される。
- 2 基本理念・基本目標 : 計画の基本理念と、理念の実現に向けた目標を設定する。
- 3 計画の進行管理 : 計画の進行管理・効果的な事業の展開に向けてデータの利活用等について整理する。
- 4 計画の体系 : 第10期・第9期計画計画の「計画の体系」を整理する。

◆基本理念

【第8期・第7期計画】

住み慣れた地域で健康でいきいきと安心して暮らす



【第9期・第8期計画】

- ・会津美里町第3次総合計画(後期計画)の政策目標である「健やかで人にやさしいまちづくり」を実現するため、前期計画から基本理念を引き継ぐ。

住み慣れた地域で健康でいきいきと安心して暮らす

- ・可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにするために、高齢者等のニーズと各種サービス、保険料のバランスがとれた適正なサービス提供体制の確立と、高齢者の自立に向けた各種支援の充実及び要介護状態の重度化防止、認知症への正しい理解の促進に係る取組みの強化を目指す。
- ・高齢者の尊厳を保持するため「自助、互助、共助、公助」を組み合わせ、その人がその人らしい生活を人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化及び推進を図り、将来的に地域共生社会の実現に向けた取組みを進める。



【第10期・第9期計画（案）】

案1 住み慣れた地域で健康でいきいきと安心して暮らす

案2 住み慣れた地域でともにつながりいきいきと健やかに暮らすまち

◆基本目標

【第9期・第8期計画】

第3章 高齢者福祉サービス体制の確保及び充実

- ・各種支援やサービスが高齢者の生活ニーズにあった利用しやすいものとなるよう見直しを行うなど、住み慣れた地域で安心して生活ができるような支援・サービスの充実に努める。
- ・高齢者の異変等に対し迅速に対応し、犯罪や事故を未然に防ぐことができるよう「会津美里町地域見守りネットワーク」の拡大に努め、地域の見守り体制の強化を図る。

第4章 地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現

- ・医療・介護、予防、生活支援の各サービスが一体的に切れ目なく提供される社会の実現に向け、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。
- ・高齢者や障がい者等が地域で役割を持ち、地域住民が互いに支えあい、地域全体で見守れる体制整備の構築が必要であり、町の地域社会の在り方について検討を進める。

第5章 介護給付費適正化計画

- ・必要な給付を適切に提供するために、主要5項目を柱として取り組む。

第6章 介護保険事業の展開

- ・介護保険サービスや地域支援事業の適正な利用を図るとともに、介護保険料の算定を行う。



【第10期・第9期計画（案）】

- ・現計画の柱（章立て）をもとに、基本目標として設定

基本目標1 高齢者福祉サービス体制の確保及び充実

- ・毎年のように発生する大規模な自然災害や、新型コロナウイルス等の感染症対策など、高齢者を取り巻く環境は大きく変化している。高齢者をはじめ、すべての町民が、安心して、より安全に暮らすことができる新しい生活様式の推進を図る。

基本目標2 地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現

- ・高齢者の心身の多様な課題に対応し、健康寿命の延伸を図るべく、高齢者保健事業と介護予防の連携強化を図る。
- ・地域包括ケアシステムの充実や認知症高齢者への施策等のさらなる拡充を目指す。

基本目標3 介護保険事業の展開と適正利用の推進

- ・2040年及び2050年を見据え、介護保険サービスの充実と適正利用により「重度化防止」や「地域生活の継続」を推進する。

第4章 施策の展開

【基本目標1 高齢福祉サービス体制の確保及び充実】

(第9期・第8期計画の「第3章」及び「第7章」を中心に構成するとともに、以下に留意する。)

5 災害や感染症対策に係る体制の整備

- : 現計画の「第7章 介護保険事業の展開」をもとに、「災害」や「感染症」に対する備えの実情や課題、今後の取組について検討する。
- : 業務継続計画（BCP）策定の義務化、策定支援を検討する。

【基本目標2 地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現】

(第9期・第8期計画の「第4章」を中心に構成するとともに、以下に留意する。)

3 地域包括ケアシステムの深化・推進及び地域共生社会の実現に向けた施策の展開

- : 地域包括ケアシステムの深化・推進として、地域住民や多様な主体による介護予防や日常生活支援の取組を推進する総合事業の充実について検討する。
- : 地域包括支援センターの体制整備や、重層的支援体制整備事業における包括的な相談支援等を担うことについての検討を行う。
- : 介護事業所・医療・介護間での連携を円滑に進めるための情報基盤の整備の推進への取組。

4 認知症施策の推進

- : 認知症に関する正しい知識の普及啓発により、認知への理解を深める取り組みについて検討する。
- : 成年後見制度の利用促進、虐待防止への取組。

【基本目標3 介護保険事業の展開と適正利用の推進】

(第9期・第8期計画の「第5章」及び「第6章」を中心に構成するとともに、以下に留意する。)

1 介護保険給付の実績と今後の見込み

- : 介護保険サービスの実績と今後の見込みについて検討する。今後の見込みの検討においては2040年（令和22年）及び2050年（令和32年）を見据えた上で検討を行うこととする。

2 介護保険サービスの事業費：現計画と同様に、給付費等の実績と今後の見込みについて検討する。

3 介護保険サービスの質の向上と各種施策

- : 「情報提供、相談・苦情対応」や「介護保険サービスの質の確保」とともに「介護人材の確保」に向けて、県と連携しながら経営の効率化、ケアマネジメントの質の向上及び新規介護人材の確保及び介護人材の定着に関する支援等について検討する。

: ハラスメント対策を含めた働きやすい職場づくりに向けた取組について検討する。

: 地域リハビリテーション支援体制の構築について検討する。

- 4 介護給付適正化計画 : 国の方針に従い、費用対効果を見込みづらい「介護給付費通知」を任意事業として主要事業から除外するとともに、実施の効率化を図るため「住宅改修・福祉用具実態調査」を「ケアプラン点検」に統合し、これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を合わせた3事業を給付適正化主要事業と位置付け、取り組む。